

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月12日
【四半期会計期間】	第30期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	セントケア・ホールディング株式会社
【英訳名】	SAINT-CARE HOLDING CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 村上美晴
【本店の所在の場所】	東京都中央区京橋二丁目8番7号
【電話番号】	03-3538-2943（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 関根竜哉
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区京橋二丁目8番7号
【電話番号】	03-3538-2943（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 関根竜哉
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第1四半期連結 累計期間	第30期 第1四半期連結 累計期間	第29期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	5,376,722	6,048,869	24,346,933
経常利益 (千円)	228,323	270,505	1,377,280
四半期(当期)純利益 (千円)	113,164	124,573	747,816
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	110,556	122,340	764,525
純資産額 (千円)	2,461,063	3,097,388	3,097,253
総資産額 (千円)	8,574,771	9,903,961	9,648,270
1株当たり四半期(当期)純 利益金額 (円)	1,574.22	1,732.94	10,402.81
潜在株式調整後1株当たり四 半期(当期)純利益金額 (円)	1,569.96	1,724.92	10,360.49
自己資本比率 (%)	28.5	31.1	31.9

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第29期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間における、当社グループにおいて営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、新たに決定又は締結した経営上の重要な契約等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産活動等が大きく落ち込みましたが、供給面の制約が和らぎ一度落ち込んだ生産活動や輸出が増加に転じるなど、景気は持ち直しつつあります。

介護サービス業界では、高齢化の一層の進展により、介護サービス受給者数及び介護給付費が増加し、介護サービス需要は高まっております。その一方で、介護サービス供給の担い手である介護従事者については、求人倍率が上昇し採用が難しくなる傾向にあり、人材の確保が経営上の課題となっております。

このような状況の中で当社グループにおいては、人材採用の強化と並んで、前連結会計年度及び当第1四半期連結累計期間において新規に開設した営業所の集客に注力してまいりました。この結果、売上高は60億48百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は2億71百万円（同17.0%増）、経常利益は2億70百万円（同18.5%増）、及び四半期純利益は1億24百万円（同10.1%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

介護サービス事業では、施設系サービスにおいて営業を強化し集客を進め、また、訪問系サービスでは訪問看護サービスの人材採用を強化し新規顧客獲得に注力することで、業績は順調に推移しました。この結果、売上高は59億7百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は2億33百万円（同19.0%増）となりました。

・その他

その他では、セントワークス株式会社において介護保険請求ASPシステムの販売が順調に推移し、売上高は2億25百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は30百万円（同23.9%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当社グループは、今後展開する事業活動のための資金確保を前提とした、健全なバランスシートの維持に努めることを財務方針としております。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より2億55百万円（前期末比2.7%）増加し、99億3百万円となりました。

流動資産は、前期末より1億34百万円（同3.0%）増加し、46億7百万円となりました。これは主に売掛金が2億20百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前期末より1億5百万円（同2.0%）増加し、52億67百万円となりました。これは主にのれんが36百万円減少した一方で、有形固定資産が39百万円、差入保証金が48百万円増加したことによるものであります。

繰延資産は、前期末より15百万円（同121.0%）増加し、29百万円となりました。

流動負債は、前期末より1億30百万円（同3.6%）増加し、37億72百万円となりました。これは主に未払法人税等が2億27百万円減少した一方で、未払金が3億39百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前期末より1億25百万円（同4.3%）増加し、30億33百万円となりました。これは主に長期借入金が62百万円増加したことによるものであります。

純資産は、30億97百万円となりました（同0.0%）。これは主にその他有価証券評価差額金が2百万円減少した一方で、利益剰余金が2百万円増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	243,000
計	243,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	71,886	71,886	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注)
計	71,886	71,886		

(注) 権利内容に制限のない標準となる株式であります。なお、単元株制度は採用しておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日		71,886		1,009,839		841,789

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）			
完全議決権株式（その他）	普通株式 71,886	71,886	
単元未満株式			
発行済株式総数	71,886		
総株主の議決権		71,886	

【自己株式等】

該当事項はありません。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査人は次のとおり交代しております。

第29期連結会計年度 清新監査法人

第30期第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間 有限責任 あずさ監査法人

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,359,947	1,331,870
売掛金	2,562,071 ²	2,782,372 ²
たな卸資産	72,835	73,629
その他	488,448	424,585
貸倒引当金	10,695	5,339
流動資産合計	4,472,606	4,607,118
固定資産		
有形固定資産	1,784,535	1,823,948
無形固定資産		
のれん	949,077 ⁴	912,092 ⁴
その他	307,793	326,500
無形固定資産合計	1,256,870	1,238,592
投資その他の資産		
差入保証金	1,427,509	1,475,883
その他	704,024	730,574
貸倒引当金	10,495	1,364
投資その他の資産合計	2,121,038	2,205,093
固定資産合計	5,162,444	5,267,634
繰延資産	13,218	29,208
資産合計	9,648,270	9,903,961
負債の部		
流動負債		
買掛金	246,857	266,172
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	418,920 ³	450,342 ³
1年内償還予定の社債	310,000	110,000
未払金	1,522,230	1,861,516
未払法人税等	328,978	101,112
賞与引当金	118,387	70,947
その他	496,975	512,517
流動負債合計	3,642,348	3,772,609
固定負債		
社債	600,000	585,000
長期借入金	920,418 ³	982,943 ³
退職給付引当金	394,707	417,579
資産除去債務	7,938	16,065
その他	985,604	1,032,376
固定負債合計	2,908,668	3,033,964
負債合計	6,551,016	6,806,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,009,839	1,009,839
資本剰余金	841,789	841,789
利益剰余金	1,232,227	1,234,595
株主資本合計	3,083,855	3,086,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,891	5,103
その他の包括利益累計額合計	2,891	5,103
新株予約権	15,956	15,956
少数株主持分	332	312
純資産合計	3,097,253	3,097,388
負債純資産合計	9,648,270	9,903,961

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	5,376,722	6,048,869
売上原価	4,617,914	5,209,492
売上総利益	758,808	839,377
販売費及び一般管理費	526,407	567,467
営業利益	232,400	271,909
営業外収益		
受取利息	1,931	1,889
受取配当金	2,629	3,165
受取保険金	2,545	784
受取家賃	3,633	3,398
補助金収入	14,775	617
その他	6,303	9,050
営業外収益合計	31,818	18,906
営業外費用		
支払利息	15,996	17,100
リース解約損	8,071	1,258
その他	11,828	1,951
営業外費用合計	35,896	20,311
経常利益	228,323	270,505
特別利益		
補助金収入	4,473	-
特別利益合計	4,473	-
特別損失		
固定資産除却損	317	508
固定資産圧縮損	4,473	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,111	-
災害による損失	-	12,210
特別損失合計	11,901	12,718
税金等調整前四半期純利益	220,894	257,786
法人税等	107,674	133,233
少数株主損益調整前四半期純利益	113,219	124,553
少数株主利益又は少数株主損失()	54	20
四半期純利益	113,164	124,573

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	113,219	124,553
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,663	2,212
その他の包括利益合計	2,663	2,212
四半期包括利益	110,556	122,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,501	122,361
少数株主に係る四半期包括利益	54	20

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年6月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 預託金預託委託

一部の賃貸物件の差入保証金について当社、貸主及び金融機関との間で代預託契約を結んでおります。当該契約に基づき、金融機関は貸主に対して保証金相当額を預託しており、当社は貸主が金融機関に対して負う当該預託金の返還債務を保証しております。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
貸主	78,207千円	68,468千円

2 債権譲渡残高

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
売掛金	995,700千円	1,030,400千円

3 財務制限条項

1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計額の内、以下の金額には財務制限条項が付されており、各条項のいずれかに抵触した場合には、当該借入金の適用利率の変更及び返済期間を短縮することがあります。

各年度の決算期の末日における連結貸借対照表の純資産の部の金額を当該決算日の直前の決算期の末日又は平成19年3月期の末日における純資産の部の合計金額のいずれか大きい方の75%以上に維持すること。

連結年度決算書において、損益計算書の経常損益の金額を2期連続して損失としないこと。

連結年度決算書において、有利子負債残高から現預金及び正常運転資金額を減じた金額を、当該連結決算期における経常利益の金額と償却費の合計金額から税金等支払額の合計金額を減じた金額で除して得た数値が10を上回らないこと。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
1年内返済予定の長期借入金 及び長期借入金	405,000千円	390,000千円

4 のれん及び負ののれんの表示

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
のれん	957,064千円	919,911千円
負ののれん	7,987千円	7,819千円
計	949,077千円	912,092千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん並びに負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	50,723千円	72,560千円
のれんの償却額	36,780	37,153
負ののれんの償却額	71	167

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	71,886	1,000	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	122,206	1,700	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	5,248,889	5,248,889	127,833	5,376,722
セグメント間の内部売上高又は振替高	150	150	74,436	74,586
計	5,249,039	5,249,039	202,270	5,451,309
セグメント利益	195,901	195,901	24,602	220,503

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣サービス、アウトソーシング受託サービス、調剤薬局のフランチャイズ、ペット及びペット用品販売、動物病院の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	195,901
「その他」の区分の利益	24,602
セグメント間取引消去	369,344
のれんの償却額	71
全社費用(注)	357,518
四半期連結損益計算書の営業利益	232,400

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な発生・変動はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	5,907,484	5,907,484	141,385	6,048,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	84,282	84,282
計	5,907,484	5,907,484	225,668	6,133,152
セグメント利益	233,163	233,163	30,480	263,644

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣サービス、アウトソーシング受託サービス、調剤薬局のフランチャイズ、ペット及びペット用品販売、動物病院等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	233,163
「その他」の区分の利益	30,480
セグメント間取引消去	391,427
のれんの償却額	167
全社費用（注）	383,330
四半期連結損益計算書の営業利益	271,909

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な発生・変動はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1,574円22銭	1,732円94銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	113,164	124,573
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	113,164	124,573
普通株式の期中平均株式数(株)	71,886	71,886
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1,569円96銭	1,724円92銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	195.00	334.00
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

当第1四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<p>取締役に対する株式報酬型ストックオプション(新株予約権)の割当</p> <p>当社は、平成23年6月28日開催の当社取締役会における決議に基づき、次のとおり平成23年7月15日開催の当社取締役会にて当社取締役に対して新株予約権を割当てる旨の決議をし、平成23年7月19日に割当てをいたしました。</p> <p>(1) 新株予約権の割当対象者及び割当てる新株予約権の総数 当社取締役6名 124個(新株予約権1個当たりの目的である株式の数は1株)</p> <p>(2) 新株予約権の払込金額 新株予約権1個当たり74,367円 なお、当該払込みについては、割当てを受ける取締役が、当社に対して有する報酬請求権と新株予約権の払込金額の債務とを相殺する。</p> <p>(3) 新株予約権の割当日 平成23年7月19日</p>

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月12日

セントケア・ホールディング株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員

公認会計士 齊 藤 文 男

業務執行社員

指定有限責任社員

公認会計士 野 口 昌 邦

業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているセントケア・ホールディング株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、セントケア・ホールディング株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成23年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成22年8月11日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成23年6月28日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。